

**製品名: コネキシン 47 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab09235**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ICC/IF,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ICC/IF 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	47kDa

**抗原情報**

遺伝子名	GJC2
別名	GJC2; GJA12; Gap junction gamma-2 protein; Connexin-46.6; Cx46.6; Connexin-47; Cx47; Gap junction alpha-12 protein
遺伝子 ID	57165.0
SwissProt ID	Q5T442
免疫原	抗血清はヒト CXG2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 21-70

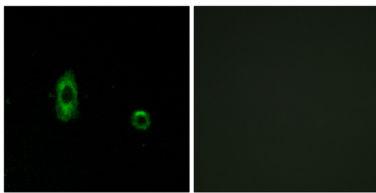
**背景**

この遺伝子はギャップジャンクションタンパク質をコードします。ギャップジャンクションタンパク質は相同コネキシンからなる大

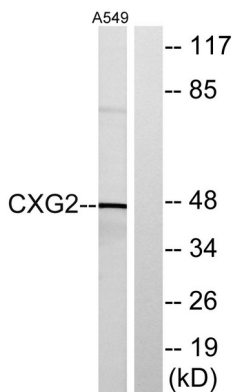
規模なファミリーに属し、4つの膜貫通ドメイン、2つの細胞外ドメイン、および3つの細胞質ドメインから構成されています。この遺伝子は中枢性髄鞘形成において重要な役割を果たし、ヒトの末梢性髄鞘形成にも関与しています。この遺伝子の欠損は、常染色体劣性遺伝性のペリツァウス・メルツバッハ様疾患1型の原因となります。[RefSeq 提供、2008年7月];注意: Met-1とMet-4のどちらが発症因子であるかは不明です。、疾患: GJC2の欠損は、白質ジストロフィー低髄鞘形成症2型(HLD2)の原因です[MIM:608804];ペリツァエウス・メルツバッハ病様疾患常染色体劣性1型としても知られるHLD2は、常染色体劣性遺伝性の髄鞘形成不全性白質ジストロフィーであり、眼振、運動発達障害、運動失調、舞踏運動アテトーゼ、構音障害、進行性痙縮を特徴とする。、機能: ギャップジャンクションは、コネクソンと呼ばれる膜貫通チャンネルが密集したクラスターから構成され、低分子量物質が細胞から隣接細胞へと拡散する。中枢神経系および末梢神経系の髄鞘形成に関与している可能性がある。、類似性: コネキシンファミリーに属する。ガンマ型サブファミリー。、サブユニット: コネクソンはコネキシンの六量体から構成される。TJP1と相互作用する。、組織特異性: 中枢神経系、坐骨神経、腓腹神経に発現する。骨格筋にも検出される。、

## 研究分野

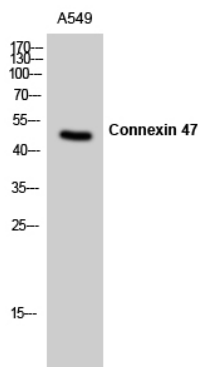
## 画像データ



CXG2抗体を用いたA549細胞の免疫蛍光染色。右の写真は合成ペプチドでブロッキングした状態。



CXG2抗体を用いたA549細胞ライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



コネキシン47ポリクローナル抗体を用いたA549細胞のウェスタンブロット解析

